



週間情報



No.0434

発行日 令和4年9月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 火災予防コンテンツ集の掲載について

全国消防長会予防委員会

予防委員会では、委員消防本部が所有する動画やリーフレットなどのコンテンツを集めた「火災予防コンテンツ集」を作成し、令和4年9月8日（木）、全国消防長会「情報管理システム」上で公開しました。

コロナ禍において、消防訓練や講習等が従来とは異なる方法で実施されるようになり、その際に活用される火災予防関係のコンテンツの重要性は日々高まっています。各消防本部で作成するリーフレットやホームページ等において、本コンテンツ集のコンテンツを二次利用することも可能ですので、業務の参考としていただければ幸いです。

※利用にあたっては、コンテンツ集の注意事項等を必ずご確認ください。

(火災予防コンテンツ集の閲覧方法)

・全国消防長会「情報管理システム」にログイン（消防本部毎にログインIDが付与されています）

情報管理システム (<https://www.fcaj.gr.jp/secure/comm/FcCmcFrame.asp>)

- ・「情報管理システム」トップページ左側「情報配信関係」内の「電子掲示板」をクリック
- ・フォルダ「委員会関係」→「予防委員会」→「火災予防コンテンツ集」をクリック
- ・「火災予防コンテンツ集について」内の添付ファイルに収納

全国消防長会予防委員会 火災予防コンテンツ集

01. 消防訓練 02. 消防用設備等 03. 防火管理 04. 住宅防火 05. 再現実験 06. その他

目次 Index

01. 消防訓練 02. 消防用設備等 03. 防火管理 04. 住宅防火 05. 再現実験 06. その他

利用方法: How to use
・コンテンツは、カテゴリごとに分類されています(クリックしてジャンプ)。
・サムネイルをクリックすると、各コンテンツが再生・表示されます。

注意事項: Caution
・コンテンツの制作中に誤りや不具合が生じている場合があります。ご了承ください。
・コンテンツの内容等に関するお問い合わせは、掲載元本部へお問い合わせください。

住宅防火

政令市 (東京含む) 中興 東北 関東 近畿 四国 九州 TOPへ戻る

自警消防施設設置指導助成中
札幌市消防局受託課

必経経路「高圧火災の対応」
札幌市消防局受託課

電気火災の注意点(総務部)
札幌市消防局受託課

ストーブ火災の注意点(総務部)
札幌市消防局受託課

地域の防災訓練メニュー
札幌市消防局受託課

「消防火災」にご注意を！
札幌市消防局受託課

防ごう！放火火災
札幌市消防局受託課

家族を守る住警器
前編 (設置・取付編)
札幌市消防局受託課

◆ 違反是正研修会を開催

愛媛県消防長会

愛媛県消防長会では、令和4年8月23日(火)に東予地区(四国中央市消防本部)、25日(木)に南予地区(愛南町消防本部)、29日(月)に中予地区(伊予消防等事務組合消防本部)において、それぞれ違反是正研修会を開催しました。

この研修会は、合計96名の参加職員に対して、違反是正に関する実践力の向上を目的として行ったものです。

研修会では、愛媛県違反是正アドバイザーが「大阪市北区ビル火災を踏まえた今後の防火・避難対策等に関する検討会」の結果を踏まえ、消防法第5条の3第1項「物件の整理又は除去の措置命令」を迅速に行うための現場での対応や、書類の作成要領等について座学研修を行った後、実践型のシミュレーション訓練を実施しました。

参加者からは、「違反処理の経験が少ない中で、関係者へのアプローチや折衝方法が大変参考になった。」「火災時の被害拡大要因の一つである物件の存置等に対しては、時期を逸することなく違反処理を進めていきたい。」などの感想が述べられ、非常に有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

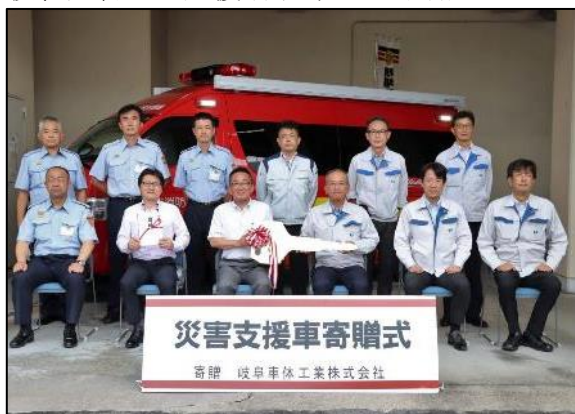
◆ 災害支援車の寄贈

各務原市消防本部(岐阜)

各務原市消防本部では、令和4年8月30日(火)、岐阜車体工業株式会社から設立80周年の記念事業として災害支援車の寄贈を受けたため、寄贈式を行いました。

この災害支援車は、乗車定員が10名のため、傷病者が多数発生した事案に軽症者を搬送することができるほか、車両両側にサイドオーニングを設け、けが人の仮収容所や、雨天、猛暑時の市民や隊員の一時避難場所としても使用できます。また、ドローンや発電機など災害に必要な資機材を積載しています。

今後、災害時の支援活動等に広く活用してまいります。



【寄贈式後の記念撮影】



【災害支援車】

訓 練

◆ 水難救助訓練を実施

東山梨消防本部（山梨）

東山梨消防本部では、令和4年8月23日（火）、24日（水）の2日間、乙女湖（琴川ダム）において、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年、増加する風水害の自然災害に対し、水難救助活動を迅速に行うことを目的に実施したものです。

その内容として、総務省消防庁から貸与された高機能救命ボートの組み立てや取り扱い、救助方法の確認を行いました。

今後も、実災害に対応する訓練を継続して行い、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 女性消防吏員活躍推進に関する講習会を開催

北茨城市消防本部（茨城）

北茨城市消防本部では、令和4年8月26日（金）、女性消防吏員活躍推進に関する講習会を開催しました。

当消防本部では、ハラスメント教育、不祥事対策、職場環境の改善等を目的とした職員研修会を毎年実施しており、今年はその一環として、女性消防吏員活躍推進アドバイザーである東京消防庁の石井珠美氏を講師に招き、全職員を対象に講話を行っていただきました。

講習会では、「女性消防吏員活躍推進に関すること」、「女性が働き続けやすい環境を作るための効果的な取り組み」、「ハラスメント対策」について、他消防本部の取り組み事例の紹介やアドバイスをいただきました。また、現場で働く「女性消防吏員の声」の内容を聞いた多くの職員から大変参考になったとの声が寄せられ、非常に有意義な講習会となりました。

今回の講習会を踏まえ、女性消防吏員の活躍推進と、男女問わず全職員が働きやすい職場環境作りに向けて積極的に取り組んでまいります。



【講習会の様子】

◆ 女性消防吏員活躍推進に関する研修会をオンラインで開催

東温市消防本部（愛媛）

東温市消防本部では、令和4年8月31日（水）、女性消防吏員活躍推進に関する研修会をオンラインで開催しました。

この研修会は、当消防本部が今年度、女性1名を採用したことから、総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーの塩田敦美氏（倉敷市消防局）を講師に招き、男性・女性が共に働きやすい職場にすることを目的として開催したものです。

当日は、アンコンシャス・バイアスやハラスメント、講師が平成30年7月豪雨における経験から感じた「消防には女性も必要なんだ」、「女性活躍推進とは、女性だけが優遇されるものではなく、男性も多方面で活躍して初めて成り立つもの」という内容などが職員の心に響く大変有意義なものとなりました。

今後も、男女が共に働きやすい職場を目指してまいります。



【研修会の様子】

◆ ハラスメントに関する研修会を開催

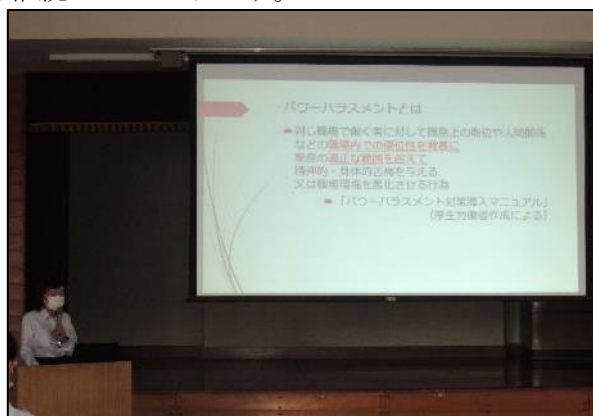
会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部（福島）

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部では、令和4年9月1日（木）、ハラスメントに関する研修会を開催しました。

この研修会は、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会のご支援のもと、武蔵野大学心理臨床センターの笹川真紀子先生を講師にお招きし、受講者を消防士長以下と消防司令補以上に分け、それぞれの階級に適した研修内容となるよう2部構成で開催したものです。

消防士長以下を対象とした研修では「精神的攻撃（ハラスメント）を考える」、消防司令補以上を対象とした研修では「アンガーマネジメントを活用した指導のあり方」をテーマに研修を実施し、ハラスメント防止の重要性について学びました。

今後も、研修会で深めた知識や対応策を実践できるよう、ハラスメント撲滅に向けた取り組みを継続してまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 予防技術資格者章の交付式を開催

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和4年8月23日（火）、予防技術資格者認定職員に予防技術資格者章の交付式を開催しました。

これは、「防火査察」、「消防用設備等」、「危険物」の3区分のうち認定された区分数に応じて金、銀、銅で色分けした資格者章を交付したものです。

また、秋山消防長から「昨今、建物の大規模化・複雑化している中で、消防に求められる予防業務をさらに強化していく必要があります。今回資格者章の交付を受けた職員は、他の職員の模範になるとともに、予防業務に関するさらなる知識及び技術を習得し、職務に励んでください。」と訓示がありました。

今後も、市民の安心・安全の確保のため、予防業務の強化に努めてまいります。



【交付式後の記念撮影】



【資格者章】

◆ 救急車適正利用の動画を作成

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和4年8月25日（木）、全国版救急受診アプリ「Q助」を普及啓発させる動画を作成しました。

この動画は、9月9日の「救急の日」の啓発活動の一環として、住民の緊急度判定を支援し、救急車を呼ぶ判断の基準を覚えてもらい、救急車の適正利用を促すことを目的としたものです。

動画では、沼津ラクーンよしもと劇場の所属芸人で、現在は静岡県に移住し、「住みます芸人」として伊豆半島PR大使やしずおか海PR大使などを歴任している「さこリッチ」さんが出演し、分かりやすく解説しています。

今後も、YouTubeやSNSを活用した広報を、地域住民に向けて発信してまいります。



【動画配信先 二次元コード】



【さこリッチさんの登場場面】

◆ 香美市消防表彰状を贈呈



【表彰後の記念撮影】

香美市消防本部（高知）

香美市消防本部では、令和4年8月25日（木）、香美市長から消火協力者に対して香美市消防表彰状を贈呈しました。

本事案は、令和4年6月25日（土）に発生した火災において、市内在住の竹田慎吾氏が、急斜面に山積みされた杉、檜等の樹皮の堆積物を除去するために重機を使用して、短時間で道を開通し、鎮火するまでの3日間の消火活動に協力したものです。

◆ 住宅用火災警報器設置義務配信動画を公開

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和4年8月30日（火）、館林地区消防組合公式YouTubeチャンネルに、住宅用火災警報器設置義務配信動画を公開しました。

当消防本部では、住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上経過しましたが、設置率は6割程度に留まっています。そのため、平成31年4月から住宅用火災警報器設置支援事業を開始し、徐々に設置率の向上に努めてきました。

今後も動画配信を継続し、多くの住民に火災予防・消防行政への理解を広めてまいります。



【動画サムネイル】



【動画配信先 二次元コード】

◆ 映画ロケ地の広報PRを実施

越谷市消防局（埼玉）

越谷市消防局では、令和4年8月31日（水）、市内で一部撮影された消防士と女子高生の恋愛を描いた映画「モエカレはオレンジ色」の映画ロケ地の広報PRを実施しました。

この企画は、越谷市フィルムコミッション事業の一環として、市の広報シティプロモーション課とタッグを組み、本市の現役消防士を起用して撮影した映画のなりきり写真を、本市ホームページやSNS等により情報配信したほか、越谷レイクタウン水辺のまちづくり館に設置したロケ地紹介コーナーに作品のポスターと一緒に展示しました。

今回の取り組みが、市民のシビックプライドの醸成や消防業務の魅力の発信につながることを期待しています。

ぜひ、本市ホームページや市公式SNS等で「再現度・本気度120%の『越谷版モエカレ』」をお楽しみください。



【映画のなりきり写真撮影の様子】



【ロケ地紹介コーナーの様子】

◆ 全国消防救助技術大会の入賞報告を実施

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、令和4年8月31日（水）、御殿場市役所において、御殿場市長に全国消防救助技術大会の入賞報告を実施しました。

これは、令和4年8月26日（金）、東京都立川市で開催された第50回全国消防救助技術大会に、当消防本部の隊員が「ほふく救出」に出場し、入賞したことによるものです。

市長からは、「素晴らしい成績を収め、大変誇らしく感じる。今回の成績を励みに今後も訓練に精励し、また、後輩への良き伝統となっていってほしい。」と労いの言葉をいただきました。

全国大会への出場は平成22年以来で12年ぶりのこととなり、職場の士気も高まりました。



【報告後の記念撮影】

◆ 夏休み初期消火選手権を開催

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、令和4年7月21日（木）から8月31日（水）までの42日間、夏休み初期消火選手権を開催しました。

この選手権は、将来、地域の防火の担い手となる子どもたちを対象に初期消火の重要性を理解してもらい、防火教育の充実を図ることを目的としており、今年で6回目の開催となります。

選手権は、まず大声を出して火災を知らせ、水消火器を正確に使用して、炎の根的をすべて倒すまでの時間を競うものです。

標的は予防課職員が作製し、当消防局マスコットキャラクター「ユリハナ君」を火災から守るというという設定で、多くの参加者に楽しみながら、初期消火を実践してもらいました。また、期間中は小学生（低学年・高学年）・中学生の各部門に分けて参加者全員のタイム測定を行い、各部門の上位3名に金・銀・銅のメダルと賞品を贈呈しました。

今後も、楽しく学べる企画等により、防火思想の普及につなげてまいります。



【選手権の様子】

◆ 救急車の適正利用の啓発ポスターを掲示

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、令和4年9月1日（木）、救急車の適正利用の啓発ポスターを掲示しました。

このポスターは、9月9日「救急の日」に向けて、救急出動件数が年々増加傾向にあることなど、救急事情を広く周知する目的で作成したものです。

ポスターは、当消防局西消防署の全署員からデザインを募集しました。その中から啓発ポスターに選ばれた職員は、「イラストを作成するに当たり【あなたならどうする？】をテーマに救急車が本当に必要な事案なのかどうかを一人一人に問いかけるような作品にした。」と作成理由を述べました。

このポスターを町内掲示板や公共施設等に掲示することにより、救急車の適正利用につながることを期待しています。



【啓発ポスター】

消防庁通知等

◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

(消防危第195号、令和4年9月2日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。(別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/847a3e37c055cfc8d8d2fcea1a930036f21a73a2.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)

消防庁危険物保安室

担当：合庭課長補佐、石井係長、嶋田事務官

TEL 03-5253-7524 FAX 03-5253-7534

報道発表

◆ 令和4年度「救急の日」及び「救急医療週間」

(令和4年9月2日、消防庁)

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間(日曜日から土曜日まで)を「救急医療週間」としています。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/4158b75ac745622cbd015e07e978011f41e8b5ae.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】消防庁救急企画室 救急連携係

担当：小味、入江、尾形、大浦

電話：03-5253-7529(直通) FAX：03-5253-7532

◆ 令和4年度における弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施

(令和4年9月2日、消防庁)

令和4年度に、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を国と共同で実施する予定の地方公共団体について、お知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220902_kokuun.pdf) に掲載されています。

(問い合わせ先)

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室

担当：伊藤補佐、島田係長

TEL:03-5253-7551

FAX：03-5253-7543

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。